

フォナックの 継続的な製造革新

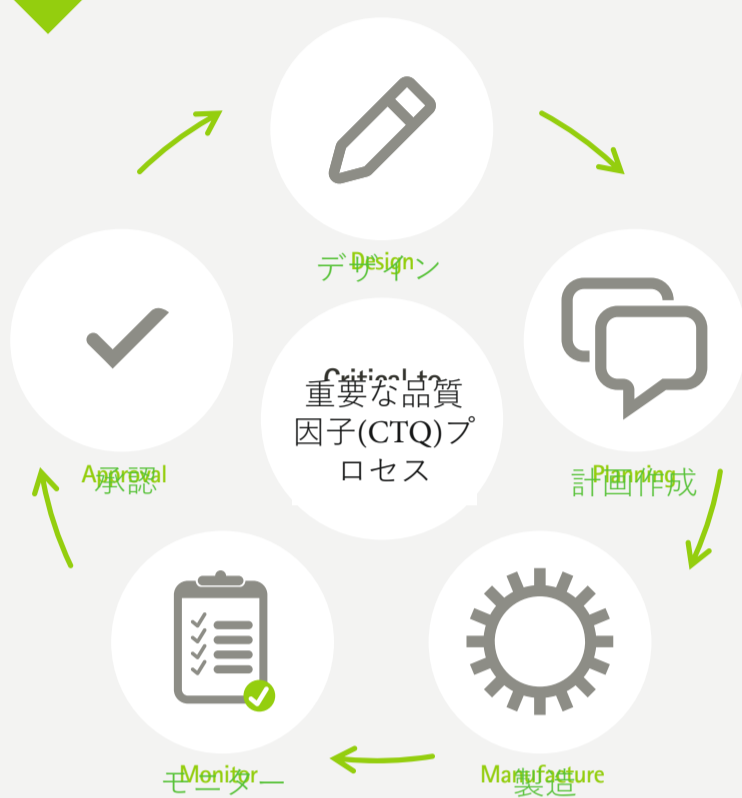
全般的な製品返品率は、ITE 製品の製造方法を変更して以降、チタン製シェルでは44%、アクリル製シェルでは14%減少しました¹。当社は、製品を改良し、上質な聞こえのソリューションを提供するために、製造プロセスの見直しに取り組んでいます。

ここに、当社製品の品質を高く保つために何を行ってきたかを示します。

当社が実施した重要な変更の1つは、モデリングの品質チェックです。

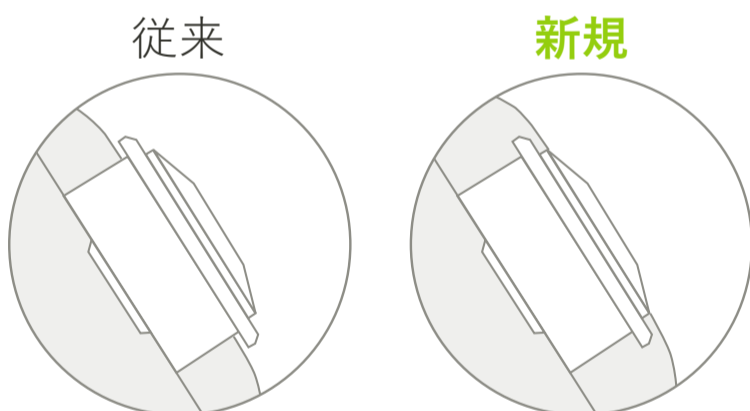
オーダーメイド補聴器の注文に対するチェックの頻度と項目を増やしました。重要な品質因子(CTQ)に対する厳格な基準が1つでも満たされなかった場合は、経営陣に報告され、プロセスが見直されます。

この一貫した取り組みは、シェルの製造工程全体にチェックポイントを設けることを意味します。これにより、モデリングの失敗率が60%下がりました²。



顧客が経験する修理の回数をどのように減らすかについても、時間をかけて検討してきました。

セルストップ ブッシングの改善



調査に基づいて、オーダーメイド補聴器の重要な部品を1つ変更しました。

セルストップ ブッシング(耳垢ガード用フィルターホルダー)がシェルの表面からとび出さなくなりました。

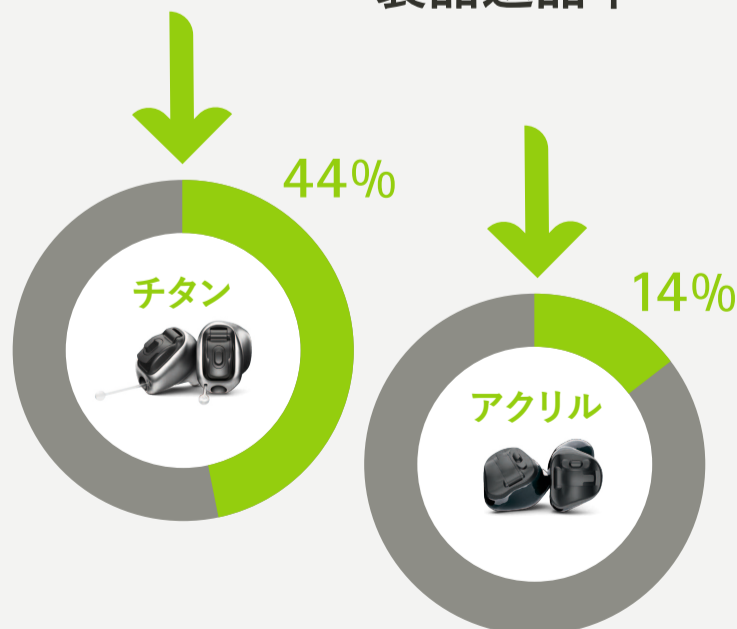
これにより、接着用のスペースを広げ、補聴器の保護を強化することができたので、チタン製耳垢ガードの交換に至るケースが80%減少しました³。

当社が製造プロセスを改善することで、顧客はメリットを享受できます。当社は製品の信頼性をさらに向上させ、皆様ビジネスの信頼性アップに貢献します。

ここに示した変更を実施してからほぼ2年で、全般的な製品返品率はチタン製シェルでは44%、アクリル製シェルでは14%下がりました¹。

当社は、これからも皆様のご意見に耳を傾け、革新への積極的な取り組みを継続します。

製品返品率



1. Sonova 製品の修理に関するグローバル修理の統計データ(SAP IRIS システムより検索)に基づいています。2020年2月から2022年2月の期間で分析を行いました。

2. SOCV (Sonova ベトナム オペレーション センター)の製造記録に基づいています。2020年8月から2021年2月の期間で分析を行いました。

3. Sonova 製品の修理に関するグローバル修理の統計データ(SAP IRIS システムより検索)に基づいています。2020年2月から2021年2月の期間で分析を行いました。